

令和4年度

社会福祉法人 景福会

事業計画書

令和4年3月12日

基本理念

「和顔愛語」

おだやかな笑顔(和顔)と、思いやりのある話し方(愛語)で人に接します。

基本方針

「社会、地域における福祉の充実・発展」に寄与することを使命とし、以下を実践していきます。

1. 利用者様の人権を尊重し、個人の尊厳が守られる福祉サービスを提供します。
2. 利用者様のプライバシー・個人情報を保護し、信頼性の高いサービスを提供します。
3. 社会福祉法人として良質かつ安全安心な福祉サービスを継続的に実施できるようにサービス品質の向上に向けた取り組みを行います。
4. 地域の様々な福祉課題、生活課題に主体的にかかわり、多様な関係機関や個人との連携・協働を図り公益的取組みを進めていきます。
5. 良質な福祉人材の確保、福祉の仕事の啓発のための情報発信、福祉教育に取り組みます。

認知症介護理念

苛立ちや不安、不穏感が高まらないよう配慮します。

目線を合わせ、笑顔で会話をし、なじみの関係を作る努力をします。

束縛や禁止のない日常生活を過ごしていただき、そして自由を大切にするための努力をします。

令和4年度事業方針

今年度はコロナ禍の中、減収が続いている唐孔雀園特養の稼働率向上と桜花台園小規模の登録者増加に注力し、諸項目の目標に対する進捗チェックを徹底して実施していきたいと思えます。

利用者増加

(1)唐孔雀園

老朽化している設備のうち、機械浴の導入や居室・職員休憩室・ロビー等の改修を計画し、施設環境の改善をおこない利用者増加に繋げていきます。

入所申込があった時点で、臨時の入所判定委員会を開催してすぐに入所調整を可能にしていきます。病院のソーシャルワーカーや老健のケアマネ、居宅事業所へは「すぐに入所可能な施設」としてPRをするとともに、空き情報・受入可能利用者等の情報提供をおこない、繋がりを作っていきます。

(2)桜花台園

①地域のいきいきサロンへの訪問による高齢者への直接PR ②民生委員・児童委員協議会へ参加し施設PR ③病院のソーシャルワーカーや老健のケアマネ、居宅事業所・包括支援センター担当者との相談受付・情報提供により利用者増加を図ります。

人 事

(1) 人員および教育体制

唐孔雀園の特養は介護職3名の職員を採用し、派遣職員の減少を図ることができましたが、デイサービスの離職2名の補充を派遣パートで行っています。

桜花台園は前々期に採用した職員の運用が安定せず、引き続き補充の必要がありますが、4月に新卒2名(うち1名は外国人留学生受入者)の介護福祉士資格取得予定者の採用に至りました。また、新たに外国人留学生1名をアルバイトとして受入れ育成していく予定です。

今期は引続き新卒採用のための学校訪問、各種団体主催の福祉系求人面談会に積極的に参加し、実習生の受入は新型コロナの感染状況を見ながら対応していきます。

また、職場環境の改善や介護福祉士資格等の取得支援を実施し、資格経験なしの人材

を育成していく環境を整えていきたいと思ひます。

(2)諸規程の見直し

処遇改善支援補助金の新設に伴う「新たな手当」の新設、介護・育児休業法の改正に伴う就業規則の改定を行っていきまひす。

経費

(1)ハローワークからの応募が皆無な中、派遣職員に頼らない職場にするため効果的な有料媒体を使つての職員確保は積極的に行っていきまひす。

(2)設備関係は、器具・備品等老朽化に伴う更新、利用者増加に繋がる特殊浴の導入・居室の改装や人材確保に繋がる職員休憩室等の改修を計画していきまひす。

(3)消耗品関係は経常的に使用し調達量の多いものから仕入れ先および商品の見直し、コスト削減を図りまひす。

(4)給食の調理方法の見直し等おこない、管理費・食材全体でコスト削減を図りまひす。

地域貢献

(1)地域支援プロジェクト

今期もコロナ禍の中、介護予防教室や料理教室の開催は難しく、9月に唐孔雀園・桜花台園と地域の方々も参加いただける災害訓練を実施したいと思ひます。

(2)生活困窮者就労訓練事業等への協力

生活困窮者就労訓練事業の受入事業所として、今年度も引き続き協力していきまひすと思ひます。

(3)災害時のための支援体制

桜花台園は災害時福祉避難所になっています。地域との連携を図り具体的な体制等整備をしていきまひす。

各事業の基本方針等について

介護保険法改正による①人権擁護・虐待②事故防止③感染防止④ハラスメント対策の指針・要領は前期作成しましたので、今年度はそれぞれの運用を定着させていきまひす。BCPについては現在作成中であり今年度中に作成して訓練実施まで行いたいと思ひます。

また、前年度計画していた「倫理綱領」の策定は行えていませんでしたので今年度中に策定し人権教育等の具体的取り組み強化していきまひす。

■唐孔雀園

○基本方針

新型コロナの感染状況を注視し、感染予防を徹底すると共にご利用者、ご家族及び職員の体調変化等十分に確認しながら安全なケアを心掛けていきまひす。

・特養・ショート

唐孔雀園は、利用者様の尊厳をまもり、安心して生活を送って頂く場所です。

私たち施設課職員は、利用者様個々の身体・精神状況に応じた質の高いサービスを提供し、利用者様及び、ご家族様が安心して生活できるよう支援を行ってまいります。

令和4年度も利用者様が、日々安心して快適な日常生活を送っていただけるように思いやりの心を持ち、笑顔で温かみのある言葉掛けを行いながら、丁寧な介護を心掛け身体面・精神面の援助を行ってまいります。

認知症の利用者様については、当園の認知症介護の理念に沿った援助を行うことにより、笑顔で安心して過ごしていただき、認知症の進行が緩やかになるように支援します。その為に職員全員が、介護技術や接遇マナーの向上に努め、多職種連携により利用者様に対してより良いサービスが提供できるように資質の向上に努めてまいります。

・デイサービスセンター

利用者様の住み慣れた地域、生活環境で、自立した生活が継続できるように支援します。利用者様の心身の状態・環境を踏まえ、人格を尊重した安全で質の高いサービスを提供します。

地域の各関係機関等と緊密な連絡と連携を図り、地域社会のニーズに対応したサービスを提供します。

重点項目

利用者様の立場になって考え、感謝の気持ちと明るい笑顔で接し、良好な関係性を築きます。

利用者様の豊富な知識と残存能力の活用で、社会的孤立感の解消に努めます。

利用者様のご家族等のニーズを的確に捉え、ご家族等の身体的・精神的負担の軽減に努めます。

利用者様の担当ケアマネージャーと、情報の共有化・連携を図り、より良いサービスの提供に努めます。

職員のスキルアップのため、必要な外部講習・研修の機会を設け、内部研修の充実にも努めます。

■桜花台園

○基本方針

職員全員が介護スキル・接遇マナーの向上に努め、利用者様により良いサービスを提供するとともに、地域密着型の施設としてそのノウハウを地域に還元していきます。

新型コロナの感染状況を注視し、感染予防を徹底すると共にご利用者、ご家族及び職員の体調変化等十分に確認しながら安全なケアを心掛けていきます。

・特 養

一人ひとりの状態により添ったユニットケアの基本である個別ケアを目指します。また、重度化が進む入居者様への適切なケアを実践し、本人、ご家族様にとって居心地の良い

生活を送れるよう努めます。

入居者様、ご家族様が望まれる生活を支えていくため、介護、看護、ケママネ、管理栄養士、医師が連携、情報を共有し統一されたケア、医療を提供できるようにします。

・ショート

在宅生活に合わせたケアを目指し、運動器具の充実化を図り、軽度者から重度者の方まで広く「桜花台園なら利用したい」と言われるように個別的関わりを重視し、利用者の趣向や楽しみを見出しメリハリのある生活を送れるように努めます。

在宅生活をご家族、サービス事業所、インフォーマルサービス、担当ケアマネージャー、主治医等と情報共有し、宿泊時に適切な介護が実施できるようにします。

・小規模

利用者様の多様なニーズに応えるため、小規模多機能の特性を生かした通い、宿泊、訪問3つの機能を適切にプランニングしサービス提供できるようにします。

地域行事や地域との交流行事などを通して地域ネットワークを広げ、地域に根差した事業所を目指します。

現在の生活環境をしっかりと把握し利用者様・ご家族の思いを知ることで、住み慣れた地域で生活ができるように努めていきます。

・看護

入所者様、利用者様の重度化に伴い、疾病の管理や医療処置が多く求められています。些細な変化の早期把握・早期対応により、重症化・重篤化を回避し、できるだけその人らしい健康な暮らしが維持できるように支援します。

職員の心身状況を把握し、ストレスへの対応や疾患の早期治療を勧めます。

■景福会栄養・地域配食課

○基本方針

食を提供する専門職として、利用者一人ひとりの意向や問題点を細やかに把握し、個々人にあつた効率的・効果的な栄養ケアの提供がより一層求められると同時に唐孔雀園、桜花台園は生活の場でもあります、毎日の食事を楽しんでいただくために、献立作成から喫食までの一連の食事や食事環境(食事の盛り付け、食器、適温適時、衛生管理)にも、利用者様のニーズが反映できるよう努めていきます。

また、景福会、南溟会と協力し、コロナ感染が終息した場合は食を通して、地域とのつながり強化に一層努力し、施設内・地域すべての方々から喜ばれ安心、安全な食事の提供を目標とし次の項目を実施します。